

精神科領域専門医研修プログラム

■ 専門研修プログラム名：兵庫医大学病院連携施設 精神科専門医研修プログラム

■ プログラム担当者氏名：松永 寿人

住 所：〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町 1 番 1 号

電話番号：0798-45-6051

F A X：0798-45-6053

E-mail：npsy@hyo-med.ac.jp

■ 専攻医の募集人数：（7）人

■ 応募方法：

履歴書を下記宛先に郵送の上、面接申し込みを行う。

宛先：〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町 1 番 1 号

兵庫医科大学 精神科神経科医局

TEL：0798-45-6051

担当者：林田和久（医局長）

■ 採用判定方法：

診療部長（主任教授）・医局長が履歴書記載内容と面接結果に基づき厳正な審査を行い、採用の適否を判断する。

I 専門研修の理念と使命

1. 専門研修プログラムの理念（全プログラム共通項目）

精神科領域専門医制度は、精神医学および精神科医療の進歩に応じて、精神科医の態度・技能・知識を高め、すぐれた精神科専門医を育成し、生涯にわたる相互研鑽を図ることにより精神科医療、精神保健の向上と社会福祉に貢献し、もって国民の信頼にこたえることを理念とする。

2. 使命（全プログラム共通項目）

患者の人権を尊重し、精神・身体・社会・倫理の各面を総合的に考慮して診断・治療する態度を涵養し、近接領域の診療科や医療スタッフと協力して、国民に良質で安全で安心できる精神医療を提供することを使命とする。

3. 専門研修プログラムの特徴

兵庫医科大学は、甲子園に近い西宮市に位置しており、大阪梅田から15分、神戸三宮から20分の都市型大学病院である。兵庫医科大学病院精神科神経科医局は、現在大学院生を含め、20名ほどから構成されており、子育てをしながら働く女性医師も多い。指導医は40歳前後が中心であり、医局は若々しく明るく活気に溢れており、フレンドリーで自由な雰囲気ではあるが、レジデントや院生の研究・臨床などの教育に関しては、厳しくも温かくきめ細やかな指導を心掛けている。

当プログラムの研修施設群は20施設で構成されており、症例、地域、専門的治療などの面で多彩な選択肢の中から専攻医の希望に即した研修コースをオーダーメイド的に提供することが可能となっている。さらに研修終了後の進路についても、研修施設群に参加している医療機関のほとんどが兵庫医科大学病院精神科神経科同門会施設であるため、プログラム内で研修した施設もしくは研修中に経験できなかった施設への就職がスムーズである。また、兵庫医科大学には夜間大学院があるため、研修期間中に大学院へ進学し、専門医研修と大学院での研究を並行して行うことができ、研修終了後に大学での研究を継続することも可能である。現在大学院生は7名在籍しており、強迫関連障害や不安障害、うつ病などの臨床研究を中心に、産後精神病に関するもの、うつ病動物モデルを使ったもの、認知症の薬理学的研究、精神免疫、神経病理学的研究など幅広く、学会活動も活発に行っている。特に強迫関連障害の臨床や研究に関しては、国際的にも高く評価され、国内ではリーダー的な存在である。当プログラムでの研修を行う全ての専攻医は、研究機関ならではの専門的診断と治療に触れることができ、その研究の一翼を担うことで、学術的成果を達成することができる。本研修プログラムでは、①外来診療と入院治療、②急性期と慢性期、③地域医療における精神医療の役割、④身体的治療と精神的治療の融合、⑤高齢者・児童思春期・依存症などのサブスペシャリティという5つの観点から研修コースを構成している。基幹病院である兵庫医科大学病院精神科神経科では病床は44床と単科精神病院と比較すると少ないものの、統合失調症(F2)、気分障害(F3)、神経症性障害(F4)をはじめとして、認知症、器質性精神疾患、身体合併症、リエゾン・コンサルテーションなどの幅広い症例を、上級医の指導を受けながら主治医として担当する。また、神経症に関しては国内有数の外来患者数であり、認知行動療法をはじめとする多種多様な神経症治療を学ぶことができる。また、院内に多職種で構成されるリエゾンチームと緩和ケアチームを有するほか、産科と合同で精神疾患合併妊娠の妊娠・出産・子育て支援などの包括的サポートプログラムを実施しており、総合病院ならではの身体疾患・精神疾患併存症例を豊富に経験することができる。さらに、神経内科と共同で兵庫県認知症疾患医療センターを運営しており、認知症疾患の専門的な鑑別診断と治療の方向付けを学ぶことができる。連携施設群の中で、いわゆるスーパー救急病床を有する有馬高原病院と宝塚三田病院では、精神科救急などの超急性期を重点的に研修できる。その他、連携施設の中で急性期病院には、都市型の仁明会病院・仁明会クリニック・伊丹天神川

病院、地域密着型の大村病院があり、1年目もしくは2年目で幅広い急性期精神医療の研鑽を積むことができる。3年目には、慢性期もしくはサブスペシャリティを求めて研修を行うが、多彩な連携施設の中から、専攻医の志向に合った施設で研修する。都市型病院である明石土山病院・東加古川病院・楓こころのホスピタル、地域密着型病院である加茂病院・神戸白鷺病院・香良病院では、それぞれの地域の特色に応じた精神科医療における慢性期の入院治療と地域における精神疾患患者のケアとトータルサポートについて研修し、専門研修の総仕上げを行う。また、サブスペシャリティについての研修については、明石こころのホスピタル・揖保川病院・児童症例との関わり方について、枚方療育園や医療福祉センターさくらなどの重症心身障害者施設では、発達障害や知的障害に対する精神医学的関わりについて、三田西病院・播磨サナトリウムでは高齢者に対する専門的治療を、金岡中央病院ではアルコールなどの依存症に対する専門的治療、仁明会クリニックでは診療所における精神科医療を研修することができる。さらに、神経症圏疾患（特に強迫関連症）のサブスペシャリティについては、2021年度より新たに九州大学病院との連携を通じて、日本有数のスペシャリスト育成プログラムを予定している。

II. 専門研修施設群と研修プログラム

1. プログラム全体の指導医数・症例数

- プログラム全体の指導医数：31人
- 昨年一年間のプログラム施設全体の症例数

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	3760	3200
F1	2378	704
F2	16002	6001
F3	9001	2086
F4 F50	3134	1195
F4 F7 F8 F9 F50	5926	184
F6	351	169
その他	84	96

2. 連携施設名と各施設の特徴

A 研修基幹施設

- ・施設名：兵庫医科大学病院
- ・施設形態：大学病院
- ・院長名：難波 光義
- ・指導責任者氏名：松永 寿人
- ・指導医人数：（ 7 ）人
- ・精神科病床数：（ 44 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	277	40
F1	596	40
F2	64	5
F3	298	15
F4 F50	835	45
F4 F7 F8 F9 F50	17	5
F6	43	5
その他		

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は 963 床を有する大規模な総合病院であり、病床は 44 床と単科精神病院と比較すると少ないものの、統合失調症（F2）、気分障害（F3）、神経症性障害（F4）をはじめとして、認知症、器質性精神疾患、身体合併症、リエゾン・コンサルテーションなどの幅広い症例を経験することができる。特に神経症に関しては国内有数の患者数であり、併設されている臨床心理部と協力して診療を行っており、認知行動療法をはじめとする多種多様な神経症治療を学ぶことができる。また、院内に多職種で構成されるリエゾンチームと緩和ケアチームを有するほか、産科と合同で精神疾患合併妊娠の妊娠・出産・子育て支援などの包括的サポートプログラムを実施しており、総合病院ならではの身体疾患・精神疾患併存症例を豊富に経験することができる。さらに、神経内科と共同で兵庫県認知症疾患医療センターを運営しており、認知症疾患の専門的な鑑別診断と治療の方向付けを学ぶことができる。

B 研修連携施設

①施設名：医療法人寿栄会有馬高原病院

- ・施設形態：特定医療法人
- ・院長名：武田 一寿
- ・指導責任者氏名：吉川 敦
- ・指導医人数：（ 3 ）人
- ・精神科病床数：（ 381 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	293	396
F1	35	60
F2	603	694
F3	479	407
F4 F50	268	210
F4 F7 F8 F9 F50	6	4
F6	6	5
その他		

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

440床を有する精神科病院であり、統合失調症に併存する精神疾患を中心に、うつ病、器質性精神障害等の症例を含む多様な精神疾患の入院・外来治療の実践経験を積むことができる。また、48床と40床 2棟の精神科救急病棟を有し、うち1棟（40床）は県内唯一の高齢者対象の救急病棟であり24時間の受け入れ対応に力を入れている。常勤内科医2名を配置しており、精神科医と相談・連携する事により合併症対応に取り組んでいる。非常勤神経内科専門医1名を配置し、認知症の鑑別診断を行っており、入院患者においても診断での連携も可能である。クロザリル登録医療機関であり、治療抵抗性統合失調症の医療に取り組んでいる。

②施設名：一般財団法人仁明会 仁明会病院

- ・施設形態：民間病院
- ・院長名：森村 安史
- ・指導責任者氏名：森村 安史
- ・指導医人数：（ 2 ）人
- ・精神科病床数：（ 310 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	60	229
F1	4	10
F2	154	258
F3	71	140
F4 F50	23	17
F4 F7 F8 F9 F50	3	9
F6	4	0
その他		

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

西宮市北部に位置する都市型の単科精神科病院であり、市街地からのアクセスも良好である。精神科急性期治療病棟を中心とした入院精神科医療全般について学ぶことができる。青年期から老年期、身体合併症など、対象としている疾患は多岐に及んでいる。入院症例は認知症、統合失調症圏、気分障害圏、物質依存など精神科医として最低限習得すべき疾患についてカバーしている。医療観察法指定通院医療機関でもあり、この法のもとの通院患者が現在2名おり、行政や地域福祉事業所等との連携やケア会議により、アクティブに地域精神医療を学ぶことが可能である。精神科における一般的な疾患についての知識や基本的技能、薬物療法、行動制限の手順など基礎的な技能と法的な知識を学ぶことができる。身体合併症治療病棟を併設しており、内科的な身体管理も内科医の指導のもとに行われている。

③施設名： 医療法人山西会 宝塚三田病院

- ・施設形態：精神科病院
- ・院長名：山西 行徳
- ・指導責任者氏名：高長 明律
- ・指導医人数：(2) 人
- ・精神科病床数：(681) 床
- ・疾患別入院数・外来数 (年間)

疾患	外来患者数 (年間)	入院患者数 (年間)
F0	41	186
F1	39	80
F2	408	623
F3	174	183
F4 F50	83	116
F4 F7 F8 F9 F50	1	1
F6	8	10
その他	84	96

- ・施設としての特徴 (扱う疾患の特徴等)

兵庫県最大の 681 床を有する単科精神科病院であり、従来から急性期の精神疾患に対する治療を積極的に行っている。現在 48 床の精神科救急病棟と、57 床の急性期治療病棟を有しており、兵庫県の精神科救急の中核的病院である。症例は統合失調症をはじめとして、気分障害、器質性精神障害、精神作用物質による精神障害、神経症圏など、多岐にわたる精神疾患の入院治療の実戦経験を積むことができる。

④施設名：医療法人樹光会 大村病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：山下 雅也
- ・指導責任者氏名：中島 貴也
- ・指導医人数：（ 4 ）人
- ・精神科病床数：（ 445 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	160	137
F1	11	12
F2	400	381
F3	228	74
F4 F50	310	24
F4 F7 F8 F9 F50	13	3
F6	17	5
その他		

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

445床を有する東播磨地域で唯一の単科精神科病院であり、地域の中核病院として、精神科医療に関するあらゆる要請に対応している。患者は、思春期から成人、高齢者に至るまであらゆる年齢層に及び、疾患の種類もほとんどの精神科疾患を網羅しており、精神科救急や措置入院等も経験することが出来る。一方、精神科デイケア、訪問看護ステーション、訪問介護、居宅介護、就労継続支援、グループホーム、地域生活相談支援センター、相談支援事業所など、当院を中心として展開しており、在宅の精神障害者をサポートする地域精神科医療を経験することが出来る。また、認知症疾患治療病棟も有し、専門医と共に認知症治療を経験することが出来る。

⑤施設名：医療法人社団 正仁会 明石土山病院

- ・施設形態：民間精神科単科病院
- ・院長名：太田 正幸
- ・指導責任者氏名：太田 正幸
- ・指導医人数：（ 1 ）人
- ・精神科病床数：（ 403 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	218	629
F1	19	94
F2	528	1628
F3	89	276
F4 F50	15	47
F4 F7 F8 F9 F50	0	3
F6	28	88
その他		

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

兵庫県中南部、明石市で403床を有する単科精神科病院である。60床の精神科急性期病棟や認知症専門病棟を有する。明石市や地域の病院とも連携がとれており、小児から認知症まで幅広い疾患に対応している。検査についても、脳波、CT、MRIに加え、光トポグラフィー検査の実施が可能である。また内科医師が常勤として勤務しており、ある程度の身体疾患や合併症については院内対応が可能である。

⑥施設名：加茂病院

- ・施設形態：私的単科精神科病院
- ・院長名：細見 誠
- ・指導責任者氏名：細見 誠
- ・指導医人数：（ 2 ）人
- ・精神科病床数：（ 402 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	43	53
F1	16	23
F2	206	306
F3	103	31
F4 F50	62	5
F4 F7 F8 F9 F50	2	0
F6	4	0
その他		

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

兵庫県北播磨地区の加東市に位置する加茂病院は、昭和 28 年に開院し、開院当初より郡部の統合失調症の患者を主に入院治療を行ってきた精神科病院である。現在は、計 7 病棟で、[15 対 1 精神病棟入院基本料（114 床）] と、[精神科療養病棟入院料（288 床）] の計 402 床を有する。近年、特に精神障害者の地域移行が進む中、当院所在の地域は現在でも社会資源が極端に少ない地域であり、結果として、当院入院患者の中心は高齢かつ重度の精神障害者が多くなったが、それでも地域移行を進めるべく、他職種他機関との連携を重視している。したがって、当院では主に重度精神疾患の入院治療と、チーム医療及び他機関との連携において実践経験を積むことが可能である。

⑦施設名：医療法人 古橋会 揖保川病院

- ・施設形態：単科精神科病院
- ・院長名：古橋 淳夫
- ・指導責任者氏名：古橋 淳夫
- ・指導医人数：（ 3 ）人
- ・精神科病床数：（ 360 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	116	507
F1	7	54
F2	117	431
F3	210	198
F4 F50	10	63
F4 F7 F8 F9 F50	431	2
F6	6	4
その他		

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

揖保川病院は、岡山県に隣接する西播磨地区の広範囲を診療圏内におき、360床を有する地域密着型の単科精神科病院である。一般的な精神疾患だけでなく児童思春期外来、もの忘れ外来をはじめ、認知症治療病棟を有しており、子供から老年期まで多岐・多層に亘る症例を経験することが可能である。また、児童思春期・老年精神医学の専門領域指導者が揃っており、より深い臨床研修が履修できる。地域の障害者施設などとも連携しており多様な精神疾患における急性期から寛解期に至るまでの包括的支援についての研鑽も積むことができる。

⑧施設名：伊丹天神川病院

- ・施設形態：病院
- ・院長名：岩谷 信昭
- ・指導責任者氏名：岩谷 信昭
- ・指導医人数：（ 2 ）人
- ・精神科病床数：（ 232 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	22	6
F1	23	7
F2	96	104
F3	173	50
F4 F50	133	5
F4 F7 F8 F9 F50	6	1
F6	3	1
その他		

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

伊丹市にある267床を有する精神科主体の病院であり、その内、精神科病床は232床を有している。主な症例としては統合失調症（F2）、気分障害

（F3）、神経症性障害（F4）などの治療にあたっている。当院の特徴として、住宅地内に立地していることから、他の精神科病院より比較的外来患者が多いので、様々な症例を体験することが出来る。また、内科療養病棟を有している事から、身体合併症治療などの経験ができることも特徴である。当院の医局会等では、積極的に勉強会や意見交換会を随時開催し、職員の知識の向上に努めている。

⑨施設名：医療法人山西会 三田西病院

- ・施設形態：私立単科精神病院
- ・院長名：藤田 宏史
- ・指導責任者氏名：藤田 宏史
- ・指導医人数：（ 3 ）人
- ・精神科病床数：（ 200 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	8	198
F1	0	0
F2	8	68
F3	6	26
F4 F50	13	246
F4 F7 F8 F9 F50	1	0
F6	0	0
その他		

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

三田西病院は200床の精神科病床を持つ私立単科精神病院である。入院では主に精神疾患および認知症の高齢者の治療に当たっている。地域の一般科からの後送、転院を受け入れており、多彩な身体疾患の合併するケースも多く、ライフサイクルのエンドステージでのマネージメントを含む治療経験をつむことが出来る。外来では一般精神科として認知症だけでなく統合失調症、気分(感情)障害、神経症、児童、てんかんなどを診療対象としている。また精神科デイケア施設を併設しており種々の患者の生活支援にも取り組んでいる。

⑩施設名：楓こころのホスピタル

- ・施設形態：単科病院
- ・院長名：南川 博彦
- ・指導責任者氏名：眞城 英孝
- ・指導医人数：（ 3 ）人
- ・精神科病床数：（ 150 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	91	100
F1	60	11
F2	315	180
F3	405	80
F4 F50	49	2
F4 F7 F8 F9 F50	6	2
F6	10	3
その他		

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

児童思春期、成人、老壮年ほぼすべての年代にわたる精神科臨床を対象とする。統合失調症に加え、気分障害、認知症を含む器質性精神障害、パーソナリティ障害、発達障害、思春期症例等多彩な精神疾患の治療を経験することができる。

⑪施設名：医療法人社団友愛会 播磨サナトリウム

- ・施設形態：医療法人
- ・院長名：南川 博康
- ・指導責任者氏名：西村 活也
- ・指導医人数：（ 3 ）人
- ・精神科病床数：（ 358 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	10	40
F1	5	20
F2	100	150
F3	30	70
F4 F50	15	35
F4 F7 F8 F9 F50	2	3
F6	3	7
その他		

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

播磨サナトリウムは精神病棟 15：1 179 床・精神科療養病棟 120 床・認知症病棟 59 床、計 358 床を有する精神科単科病院で急性期から慢性期の各精神疾患に加え認知症及び身体合併症治療の実践経験を積むことができる。合併症発症時には非常勤医師による内科・外科・整形外科・眼科・耳鼻科・皮膚科・形成外科・歯科の診察を行っており重症時は内科・外科への転院等、地域連携医療を行っている。

⑫施設名：医療法人敬性会 神戸白鷺病院

- ・施設形態：民間病院
- ・院長名：高野 守秀
- ・指導責任者氏名：海賀 和宏
- ・指導医人数：（ 2 ）人
- ・精神科病床数：（ 278 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	0	46
F1	0	0
F2	202	81
F3	17	20
F4 F50	10	5
F4 F7 F8 F9 F50	0	0
F6	0	1
その他		

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

神戸白鷺病院は、神戸市西区にあり、精神一般 160 床、精神療養 118 床の合計 278 床の精神科の単科の病院である。元来、田舎の精神科病院らしく統合失調症を主とした精神病圏を加療してきたが、10 数年前より認知症の患者を積極的に受けるよう努力をしている。日本老年精神医学会認定病院でもあり、地域の診療所・施設との連携も重視している。元よりの統合失調症を主とした精神病圏の患者及び認知症に伴う B P S D の患者が入院の主体となっている。また、鑑定入院・措置入院も適宜受け入れている。

⑦施設名：医療法人達磨会 東加古川病院

- ・施設形態：単科精神科病院
- ・院長名：森 隆志
- ・指導責任者氏名：森 隆志
- ・指導医人数：（ 3 ）人
- ・精神科病床数：（ 425 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	437	183
F1	127	52
F2	905	374
F3	273	109
F4 F50	55	24
F4 F7 F8 F9 F50	12	6
F6	12	5
その他		

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

達磨会東加古川病院は兵庫県加古川市に位置し、昭和12年（1937年）の設立以降、地域に根ざし、地域精神科医療に携わってきた病院である。東加古川病院は病床425床の精神科単科病院であり、附属施設に老人保健施設緑寿苑（100床）、こもれび心療クリニック（デイケア付診療所：兵庫県加古川市）を有する。関連施設としては、社会福祉法人障がい者自立支援センター「てらだ」を有する。また一方で時代の変遷に伴い平成16年（2004年）には病院の施設認定としてISO9001（現在は附属の老人保健施設も認定）、平成20年（2008年）には施設基準として精神科急性期治療病棟を取得した。また、厚生労働科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業／認知症対策総合研究事業「認知症の行動心理症状に対する原因疾患別の治療マニュアルと連携 クリニカルパス作成に関する研究」に参加するなど、臨床研究を含めて総合的に精神科医療に取り組んでいる。

⑭施設名：医療法人以和貴会 金岡中央病院

- ・施設形態：精神科病院
- ・院長名：高野 照起
- ・指導責任者氏名：香林 正仁
- ・指導医人数：（ 2 ）人
- ・精神科病床数：（ 486 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	64	54
F1	319	169
F2	635	106
F3	127	33
F4 F50	22	2
F4 F7 F8 F9 F50	2	0
F6	0	0
その他		

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

金岡中央病院は、大阪府堺市に位置し、統合失調症を中心とした精神疾患全般に対応している。中でも、認知症治療病棟（60床）とアルコール専門病棟（48床）を持っている。特にアルコール医療は、大阪市、堺市の人口約300万に対して唯一の入院機能を備え、その中心となるべく努力している。又、グループホームを3箇所（定員19名）運営し、地域支援室を中心に訪問看護等にて入居者をはじめ地域で生活する方々の支援を実践している。

⑮施設名：香良病院

- ・施設形態：単科精神科病院
- ・院長名：石井 敏樹
- ・指導責任者氏名：石井 敏樹
- ・指導医人数：（ 2 ）人
- ・精神科病床数：（ 266 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	100	108
F1	12	8
F2	258	212
F3	110	32
F4 F50	85	9
F4 F7 F8 F9 F50	4	1
F6	0	1
その他		

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

香良病院は、丹波圏域（丹波市、篠山市）で唯一の単科精神科病院であり、地域の保健・福祉機関や種々の施設と緊密な連携をとりながら診療を行っている。統合失調症、気分障害等の中心的な疾患だけでなく、認知症・知的障害・身体合併症を併存する精神疾患、医療観察法に基づく鑑定入院まで幅広い症例に対応しており、多様な経験を積むことができる。また、知的障害者施設や高齢者施設への往診や市民向け講演会、保健所等での心のケア相談も行っており、地域精神科医療について深く学ぶことができる。

⑩仁明会クリニック

- ・施設形態：精神科診療所
- ・院長名：武田 敏伸
- ・指導責任者氏名：武田 敏伸
- ・指導医人数：（ 5 ）人
- ・精神科病床数：（ ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	250	8
F1	13	0
F2	264	1
F3	231	15
F4 F50	1	2
F4 F7 F8 F9 F50	129	3
F6	3	0
その他		

施設としての特徴

当院は仁明会病院のサテライトクリニックとして、精神障害者の地域移行・地域生活継続を目指し外来治療を行っている。医師、看護師、臨床心理士、精神保健福祉士、作業療法士など多職種連携を行いながら精神障害者の地域生活を支えている。また、認知症や ADHD、コミュニケーション障害群、自閉症スペクトラム障害などの神経発達障害群に対しても鑑別診断、治療に取り組んでいる。併設デイケアや法人内の訪問看護ステーションと綿密に連携するため各々週に1度、カンファレンスを行い、月に1度は合同のカンファレンスを行っている。病状が悪化するなど地域生活が難しくなった場合、病院との密な連携で速やかな入院対応をとれるのが特徴である。

⑰施設名：明石こころのホスピタル

- ・施設形態：精神科救急病院
- ・院長名：西村 宏一
- ・指導責任者氏名：神坂 毅
- ・指導医人数：（ 3 ）人
- ・精神科病床数：（ 276）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	1570	278
F1	1092	64
F2	10739	397
F3	5915	325
F4 F50	725	43
F4 F7 F8 F9 F50	5283	143
F6	204	34
その他		

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

明石こころのホスピタルは兵庫県明石市にあり、1951年10月設立以降“人間への深い眼差しを持った精神医療の実践”を病院理念都市、地域医療に携わっている。早い時期より地域移行、退院促進に力を入れることで2012年より精神科救急病棟を立ち上げ、24時間365日地域の精神科救急医療に貢献している。2018年3月より救急病床が200床となり、児童・思春期から気分障害、依存症関連、統合失調症、認知症、ストレス関連疾患など様々な疾患の診療を行っている。病棟や外来では、様々な心理教育プログラムを充実させ、クリニカルパスを用いて多職種が連携して早期社会復帰を目指した関わりを行っている。

⑱施設名：社会福祉法人枚方療育園

- ・施設形態：医療方重症心身障害児施設
- ・院長名：渡邊 誠
- ・指導責任者氏名：津田 純子
- ・指導医人数：（ 1 ）人
- ・精神科病床数：（ 50）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	0	10
F1	0	0
F2	0	3
F3	62	17
F4 F50	8	1
F4 F7 F8 F9 F50	420	297
F6	0	0
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

大阪北摂地区に 490 床を有する、医療型障害児入所施設 440 床（10 対 1）、及び精神病棟 50 床（15 対 1）の施設である。主に重症心身障害児者への治療（てんかん発作、情動コントロール、強度行動障害、合併症等）を実施し、精神科病棟では、認知症状をともなう高齢患者への身体合症の治療をおこなう。併せて、小児科専門医・内科専門医の指導のもと人口呼吸管理や合併症への治療を学ぶ、また、多職種がチームとし患者にかかわり、QOL の維持向上に様々なアプローチしており、チーム医療・地域医療・福祉等の実践経験を積むことができる。

⑨施設名：九州大学病院

- ・施設形態：大学病院
- ・院長名：赤司 浩一
- ・指導責任者氏名：中尾 智博
- ・指導医人数：(10) 人
- ・精神科病床数：(65) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	165	11
F1	19	3
F2	321	83
F3	647	83
F4 F50	648	48
F4 F7 F8 F9 F50	1079	61
F6	4	1
その他		

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は 1275 床を有する大規模な病院であり、精神科も 65 床という大学病院としては最大規模の病棟を有している。高度専門医療機関として、主に難治性の症例を中心に統合失調症（F2）、気分障害（F3）、神経症性障害（F4）などの治療にあたっている。また思春期症例、認知症、身体合併症治療、リエゾン・コンサルテーションなど精神科臨床を幅広く経験できることも特徴である。精神療法の習得にも力を注いでおり、認知行動療法、精神分析・精神力動、森田療法のカンファレンス、セミナーを定期的で開催している。

3. 研修プログラム

1) 年次到達目標

専攻医は精神科領域専門医制度の研修手帳に従って専門知識を習得する。研修期間中に以下の領域の知識を広く学ぶ必要がある。1. 患者及び家族との面接、2. 疾患概念の病態の理解、3. 診断と治療計画、4. 補助検査法、5. 薬物・身体療法、6. 精神療法、7. 心理社会的療法など、8. 精神科救急、9. リエゾン・コンサルテーション精神医学、10. 法と精神医学、11. 災害精神医学、12. 医の倫理、13. 安全管理。各年次毎の到達目標は以下の通りである。

到達目標

1 年目：基幹病院または連携病院で、指導医と一緒に統合失調法、気分障害、器質性精神障害の患者を受け持ち、面接の仕方、診断と治療計画、薬物療法及び精神療法の基本を学び、リエゾン精神医学を経験する。特に面接によって情報を抽出し診断に結びつけるとともに、良好な治療関係を構築し維持することを学ぶ。精神療法の習得を目指し認知行動療法、精神分析・精神力動療法、森田療法のいずれかのカンファレンス、セミナーに参加する。院内研究会や学会で発表・討論する。

2 年目：基幹病院または連携病院で、指導医の指導を受けつつ、自立して面接の仕方を深め、診断と治療計画の能力を充実させ、薬物療法の技法を向上させ、精神療法として認知行動療法と力動的な精神療法の基本的考え方と技法を学ぶ。精神科救急に従事して、対応の仕方を学ぶ。引き続き精神療法の修練を行う。院内研究会や学会で発表・討論する。

3 年目：指導医から自立して診療できるようにする。連携病院はより幅広い選択肢の中から専攻医の志向を考慮して選択する。認知行動療法や利機動的な精神療法を上級者の指導の下に実践する。心理社会的療法、精神科リハビリテーション・地域精神医療等を学ぶ。児童・思春期精神障害およびパーソナリティ障害の診断・治療を経験する。外部の学会・研究会などで積極的に症例発表する。

2) 研修カリキュラムについて

研修カリキュラムは、「専攻医研修マニュアル」(作成中)、「研修記録システム(または研修記録簿)」を参照。

3) 個別項目について

① 倫理性・社会性

基幹施設において他科の専攻医と共に研修会が実施される。コンサルテーションリエゾンを通して身体科との連携を持つことによって医師としての責任や社会性、倫理観などについても多くの先輩や他の医療スタッフからも学ぶ機会を得ることができる。

② 学問的姿勢

専攻医は医学・医療の進歩に遅れることなく、常に研鑽自己学習することが求められる。すべての研修期間を通じて与えられた症例を院内の症例検討会で発表することを基本とし、その過程で過去の類似症例を文献的に調査するなどの姿勢を心がける。その中で特に興味ある症例については、地方会等での発表や医学雑誌等への投稿を進める。

③ コアコンピテンシーの習得

研修期間を通じて、1. 患者関係の構築、2. チーム医療の実践、3. 安全管理、4. 症例プレゼンテーション技術、5. 医療における社会的・組織的・倫理的側面の理解、を到達目標とし、医師としてのコアコンピテンシーの習得を目指す。さらに精神科診断面接、精神療法、精神科薬物療法、リエゾン・コンサルテーションといった精神医学特有のコンピテンシーの獲得を目指す。

④ 学術活動（学会発表、論文の執筆等）

研修期間中を通して、主に基幹病院での研究活動に参加し、上級医の指導の下に、その成果を学会や論文として発表する。

⑤ 自己学習

研修カリキュラムに示されている項目を、日本精神神経学会やその関連学会等で作成している研修ガイド、e-learning、精神科領域研修委員会が指定したDVD・ビデオなどを活用して、より広く、より深い知識や技能を獲得できるよう研鑽する。

4) ローテーションモデル（別紙1参照）

1年目・2年目で基幹病院と急性期病院、3年目で慢性期病院もしくはサブスペシャリティ研修施設のローテートを基本とするが、これら3年間のローテート施設と期間は、各研修施設の現在の専攻医受け入れ状況及び定員を考慮の上で、専攻医本人の希望にできるだけ沿った形を実現していく。これに加えて、主に基幹病院研修中には、連携施設またはその他の医療機関での非常勤勤務を推奨しており、経済的余裕が伴ったさらに深みと幅のある研修を実現できる。

5) 研修の週間・年間計画

別紙2と別紙3を参照。

4. プログラム管理体制について

- ・プログラム管理委員会
 - 委員長 医師：松永寿人
 - 医師：吉川敦
 - 医師：森村安史
 - 医師：高長明律
 - 医師：中島貴也
 - 医師：太田正幸
 - 医師：細見 誠
 - 医師：中井祥博
 - 医師：岩谷信昭
 - 医師：藤田宏史
 - 医師：眞城英孝
 - 医師：西村活也
 - 医師：海賀和宏
 - 医師：森 隆志
 - 医師：香林正仁
 - 医師：石井敏樹
 - 医師：武田敏伸
 - 医師：神坂毅
 - 医師：津田純子
 - 医師：中尾 智博
 - 看護師：政所久恵
 - 精神保健福祉士：伊賀陽子

- ・プログラム統括責任者
松永寿人

- ・連携施設における委員会組織
各連携病院の指導責任者および実務担当指導医によって構成される。

5. 評価について

1) 評価体制

兵庫医科大学病院：松永寿人
有馬高原病院：吉川敦
仁明会病院：森村安史
宝塚三田病院：高長明律
大村病院：中島貴也
明石土山病院：太田正幸
加茂病院：細見 誠
揖保川病院：中井祥博
伊丹天神川病院：岩谷信昭
三田西病院：藤田宏史
楓こころのホスピタル：眞城英孝
播磨サナトリウム：西村活也
神戸白鷺病院：海賀和宏
東加古川病院：森 隆志
金岡中央病院：香林正仁
香良病院：石井敏樹
仁明会クリニック：武田敏伸
明石こころのホスピタル：神坂毅
枚方療育園：津田純子
九州大学病院：中尾智博

2) 評価時期と評価方法

- ・ 3ヶ月毎に、カリキュラムに基づいたプログラムの進行状況を専攻医と指導医が確認し、その後の研修法を定め、研修プログラム管理委員会に提出する。
- ・ 研修目標の達成度を、当該研修施設の指導責任者と専攻医がそれぞれ6ヶ月毎に評価し、フィードバックする。
- ・ その際の専攻医の研修実績および評価には研修記録システム（または研修記録簿）を用いる。
- ・ 専攻医による研修実績記録については、一定の経験を積むごとに専攻医自信が形成的評価を行い研修記録システム（または研修記録簿）に記録する。少なくとも年1回は形成的評価により、指定された研修項目を年次毎の達成目標に従って、各分野の形成的自己評価を行うこと。
- ・ 指導医による評価とフィードバックの記録については、少なくとも年1回は指定された研修項目を年次毎の達成目標に従って、各分野の形成的評価を行い、記録する。「劣る」「やや劣る」の評価を付けた項目については、必ず改善のためのフィードバックを行い、記録することで翌年度の研修に役立たせる。

3) 研修時に則るマニュアルについて

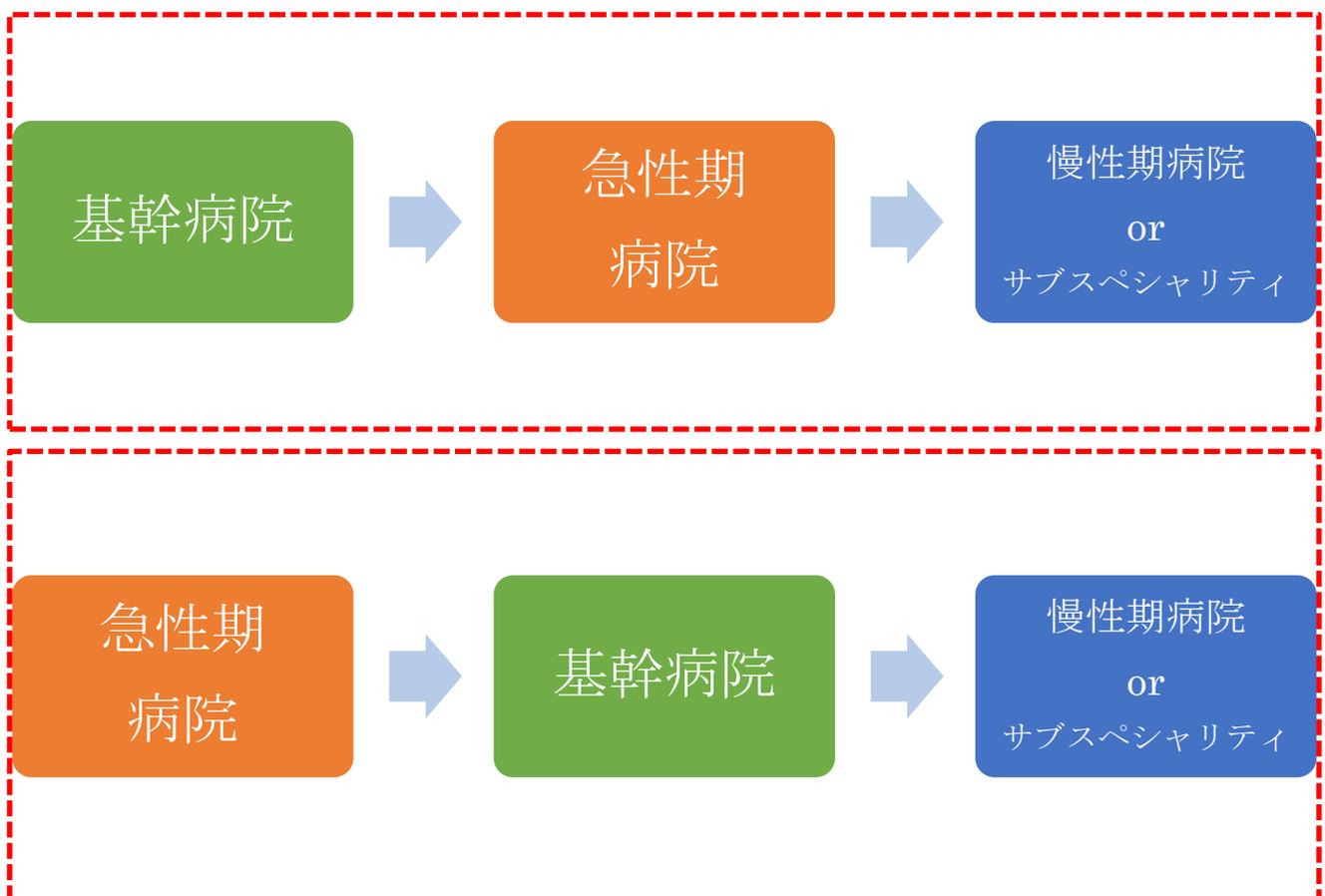
研修記録システム（または研修記録簿）に研修実績を記載し、指導医による形成的評価、フィードバックを受ける。統括的評価は精神科研修カリキュラムに則り、少なくとも年 1 回行う。基幹施設である兵庫医科大学病院にて専攻医の研修履歴（研修施設、期間、担当した専門研修指導医）、研修実績、研修評価を保管する。さらに専攻医による専門研修施設および専門研修プログラムに対する評価も保管する。プログラム運用マニュアルは専攻医研修マニュアルと指導医マニュアルを用いる。

6. 全体の管理運営体制

- 1) 専攻医の就業環境の整備（労務管理）
各施設の労務管理基準に準拠する。
- 2) 専攻医の心身の健康管理
各施設の健康管理基準に準拠する。
- 3) プログラムの改善・改良
基幹病院の統括責任者と連携施設の指導責任者による委員会にて、定期的にプログラム内容について討議し、継続的な改良を実施する。
- 4) FDの計画・実施
年 1 回、プログラム管理委員会が主導し各施設における研修状況を評価する。

別紙1 ローテーション

- ・ 基幹病院、急性期病院を1年目または2年目で研修し、3年目に慢性期／サブスペシャリティを選択する。
- ・ 研修先の連携施設については、可能な限り専攻医の希望に沿った施設を選択する。
- ・ 原則として1年毎に研修施設を移動するが、研修施設人員枠や専攻医希望等の事情によって上半期／下半期（10月）の移動も可とする。



基幹 病院

- 兵庫医科大学病院

急性期 病院

- 精神科救急：有馬高原病院
- 宝塚三田病院
- 都市型：仁明会病院
- 仁明会クリニック
- 伊丹天神川病院
- 地域密着型：大村病院

慢性期 病院

OR

サブスペ
シヤリテイ

- 都市型：明石土山病院
- 東加古川病院
- 楓こころのホスピタル
- 地域密着型：加茂病院
- 神戸白鷺病院
- 香良病院
- 高齢者病棟：三田西病院
- 播磨サナトリウム
- 中毒専門病棟：金岡中央病院
- 児童思春期：揖保川病院
- 明石こころのホスピタル
- 枚方療育園
- 九州大学病院

別紙2 週間スケジュール

基幹病院：兵庫医科大学病院

	月	火	水	木	金	土
9:00 ↓ 12:00	外来 陪診	外来 陪診	外来 陪診	外来 陪診	外来 陪診	外来 陪診
13:00 ↓ 15:00	病棟 業務	病棟 業務	教授 回診	病棟 業務	病棟 業務	
15:00 ↓ 17:00	リエゾン 回診	病棟 業務	医局会 症例 検討会	病棟 業務	リエゾン 回診	
その他						

①有馬高原病院

	月	火	水	木	金	土
9:00 ↓ 9:30	救急チームカ ンファレンス	外来予診	病棟業務	外来予診	病棟業務	
9:30 ↓ 12:30	病棟業務	外来予診	病棟業務	外来予診	病棟業務	
13:30 ↓ 17:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	～14:30 院長回診 14:30～ 病棟業務	病棟業務	
その他			1～2回/月 アウトリーチ事業	1回/月 地域精神保 健相談同行		

②仁明会病院

	月	火	水	木	金	土
午前	病棟業務	病棟業務	外来業務	病棟業務	病棟業務	
午後	病棟業務	病棟業務	病棟業務	デイケア業務	病棟業務	
		医局会 (月1回)		抄読会	症例検討会	
その他			当直(月2回)			

③宝塚三田病院

	月	火	水	木	金	土	日
9~10	外来業務	外来業務	外来業務	外来業務	外来業務	外来業務	救急医療
10~11	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
11~12	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
12~13	医局会						月1回程度
13~14	↓	症例検討会	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	
14~15		↓	↓	↓	↓	↓	
15~16	病棟業務	↓	↓	↓	↓	↓	
16~17	↓	病棟業務	↓	↓	↓	↓	
17~18	↓	↓	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	
17~9	救	急週	医1	療回	(当程)	(直)度	

※各1回の週休日、外勤日有

※医局会、症例検討会は曜日等の変更有

④大村病院

	月	火	水	木	金	土
9:00 ↓ 12:00	入院患者 カンファ、 外来業務	病棟研修 (病棟回 診)	外来業務 (初診・診 察見学)	病棟研修 (病棟回 診)	病棟研修 (病棟回 診)	
13:00 ↓ 15:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	
15:00 ↓ 17:00	病棟研修 (症例検 討会)	病棟研修 (指導医 講義、臨 床検討)	病棟研修 (指導医 講義、臨 床検討)	病棟研修 (指導医 講義、臨 床検討)	病棟研修 (指導医 講義、臨 床検討)	
その他		デイケア 見学		OT見学		

⑤明石土山病院

	月	火	水	木	金	土
9:00 ↓ 12:00	外来予診 病棟業務	院長外来 陪席	院長外来 陪席	外来予診 病棟業務	院長総回診	院長外来 陪席
13:00 ↓ 15:00	外来予診 病棟業務	外来予診 病棟業務	外来予診 病棟業務	外来予診 病棟業務	外来予診 病棟業務	病棟業務
15:00 ↓ 17:00	病棟業務	クルズス等	病棟業務	クルズス等	症例検討会 医局会	病棟業務
その他						

⑥加茂病院

	月	火	水	木	金	土
9:00 ↓ 12:00	外来業務	外来業務	外来業務	外来業務	外来業務	外来業務
13:00 ↓ 15:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
15:00 ↓ 17:00	・デイケア ・退院支 援カンファ	・デイケア ・退院支 援カンファ	・デイケア ・退院支 援カンファ	・デイケア ・退院支 援カンファ	・デイケア ・退院支 援カンファ	病棟業務
その他	医局会 (症例検 討会)					

⑦揖保川病院

	月	火	水	木	金	土
9:00 ↓ 12:00	外来陪診	外来陪診	デイケア	病棟回診	外来診察	休み
13:00 ↓ 15:00	病棟回診	医局会	病棟回診	病棟 カンファレンス	各種会議 委員会	休み
15:00 ↓ 17:00	病棟回診	病棟回診	病棟回診	外来診察 (施設入所者)	病棟回診	休み
その他						

⑧伊丹天神川病院

	月	火	水	木	金	土
9:00 ↓ 12:00	病棟・外 来業務	病棟・外 来業務	病棟・外 来業務	病棟・外 来業務	病棟・外 来業務	病棟・外 来業務
13:00 ↓ 16:00	病棟・外 来業務	病棟・外 来業務	病棟・外 来業務	病棟・外 来業務	病棟・外 来業務	病棟・外 来業務
16:00 ↓ 17:00	医局会	適時カン ファレンス	適時カン ファレンス	適時カン ファレンス	適時カン ファレンス	適時カン ファレンス
その他						

⑨三田西病院

	月	火	水	木	金	土
9:00 ↓ 12:00	外来業務/ 病棟業務	外来業務/ 病棟業務	外来業務/ 病棟業務	外来業務/ 病棟業務	外来業務/ 病棟業務	外来業務/ 病棟業務
13:00 ↓ 15:00	院長回診/ 医局会	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
15:00 ↓ 17:00	病棟業務/ 入退院カンフ ァレンス	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
その他						

⑩楓こころのホスピタル

	月	火	水	木	金	土
9:00 ↓ 12:00	外来業務	外来業務	外来業務	外来業務	外来業務	
13:00 ↓ 15:00	病棟業務 院長回診	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	
15:00 ↓ 17:00	医局カンファ	入退院カンファ	医局カンファ	医局カンファ 論文輪読会	医局カンファ	
その他						

⑪播磨サナトリウム

	月	火	水	木	金	土
9:00 ↓ 12:00	外来	外来	外来	外来	院長回診	
13:00 ↓ 15:00	院長回診	院長回診	病棟業務	病棟業務	病棟業務	
15:00 ↓ 17:00	病棟業務	カンファレンス	病棟業務	病棟業務	病棟業務	
その他						

⑫神戸白鷺病院

	月	火	水	木	金	土
9:00 ↓ 12:00	医局カンファレンス 外来病棟業務	医局カンファレンス 外来病棟業務	医局カンファレンス 外来病棟業務	医局カンファレンス もの忘れ外来	医局カンファレンス 外来病棟業務	医局カンファレンス 外来病棟業務
13:00 ↓ 15:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
15:00 ↓ 17:00	病棟カンファレンス 院長回診	病棟業務	病棟業務 院長回診	病棟業務	病棟業務 院長回診	病棟業務
その他					不定期に 薬剤研修会	

⑬東加古川病院

	月	火	水	木	金
9:00-12:00	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務
13:00-15:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務 クルズス	病棟業務 クルズス	病棟業務 クルズス
15:00-17:30	教育回診	医局会 症例検討会	病棟業務	教育回診	救急症例検討 会
				当直(隔週)	当直(隔週)

⑭金岡中央病院

	月	火	水	木	金	土
9:30 ↓ 12:00	病棟 業務	病棟 業務	外来 業務	外来 業務	外来 業務	
13:00 ↓ 15:00	治療プロ グラム	入院 診察	入院 診察	入院 診察	治療プロ グラム	
15:00 ↓ 17:00	病棟 業務	病棟 業務	症例 検討会	病棟 業務		
その他						

⑮香良病院

	月	火	水	木	金	土
9:00 ↓ 12:00	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務
13:00 ↓ 15:00	デイケア業務	デイケア業務	デイケア業務	医局会 医局 カンファレンス	デイケア業務	デイケア業務
15:00 ↓ 17:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
その他						

⑩仁明会クリニック

	月	火	水	木	金	土
9:00 ↓ 12:00	外来業務	外来業務	外来業務	外来業務	外来業務	
13:00 ↓ 15:00	デイケア 業務	デイケア 業務	デイケア 業務	デイケア 業務	デイケア 業務	
15:00 ↓ 17:00	外来業務	外来業務 訪問看護との カンファレンス	外来業務	外来業務 デイケアとの カンファレンス	外来業務	
その他						

⑪明石こころのホスピタル

	月	火	水	木	金	土
9:00 ↓ 12:00	カンファレンス 外来業務	外来業務	病棟業務	病棟業務	デイケア	
13:00 ↓ 15:00	病棟業務	病棟業務	デイケア	外来業務	外来業務	
15:00 ↓ 17:00	症例検討 医局会	病棟業務	デイケア	外来業務	病棟業務 カンファレンス	
その他		救急業務	救急業務	救急業務		

⑱枚方療育園

	月	火	水	木	金	土
9:00 ↓ 12:00	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務
13:00 ↓ 15:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
15:00 ↓ 17:00	カンファレンス 医局会	病棟業務 適時カンファ レンス	棟業務 適時カンファ レンス	棟業務 適時カンファ レンス	棟業務 適時カンファ レンス	棟業務 適時カンファ レンス
その他						

⑲九州 大学病院	月	火	水	木	金
8:30-9:00		病棟カンファ 抄読会			
9:00-12:00	病棟医長回 診 病棟業 務	外来予診 リエゾン	病棟業務	外来予診 リエゾン	病棟業務
13:00-16:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	教授回診	病棟業務
16:00-18:00	チームカンフ ア	病棟業務	論文輪読会	医局会	病棟業務
18:00-20:00	行動療法カ ンファ		精神分析セ ミナー	精神医学セ ミナー(不定 期)	

別紙3 年間スケジュール

基幹病院：兵庫医科大学病院

時期	研修内容
4月	オリエンテーション、教員による精神医学講義
5月	入院担当開始
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	近畿圏合同新人研修会参加、近畿精神神経学会参加
8月	
9月	兵庫県総合病院精神医学会参加
10月	院外研修(非常勤勤務)開始
11月	
12月	研修プログラム管理委員会開催
1月	
2月	近畿精神神経学会にて演題発表
3月	研修報告書作成
その他	

①有馬高原病院

時期	研修内容
4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会 参加
7月	近畿精神神経学会 参加
8月	
9月	県精神科集談会 参加
10月	
11月	
12月	院内学術交流大会 参加
1月	
2月	近畿精神神経学会 参加
3月	
その他	

②仁明会病院

時期	研修内容
4月	オリエンテーション
5月	精神科病院協会・診療所協会合同研修会
6月	日本精神神経学会総会 参加
7月	精神科病院協会・診療所協会合同研修会
8月	
9月	精神科病院協会・診療所協会合同研修会 精神神経学会地方会
10月	日本精神科医学会 参加
11月	
12月	精神科病院協会・診療所協会合同研修会
1月	
2月	精神科病院協会・診療所協会合同研修会
3月	
その他	医師会が主催する、「医療倫理」、「感染対策」、「医療安全」等の各研修に参加する

③宝塚三田病院

4月	新入局員・研修医オリエンテーション OT・DNC 研修
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加 日本司法精神医学会大会参加 日本老年精神医学会参加
7月	
8月	
9月	
10月	日本精神科救急学会学術総会参加 日本児童青年精神医学会総会参加
11月	日本精神科医学会学術大会参加
12月	
1月	
2月	
3月	

④大村病院

時期	研修内容
4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会参加
7月	
8月	
9月	症例発表会・検討会
10月	オリエンテーション(半年研修の場合)
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	症例発表会・検討会
その他	介護審査会参加、夜間救急・休日救急(年1回)、入退院カンファレンス(週1回)、措置入院診察見学(年1回)

⑤明石土山病院

時期	研修内容
4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加 日本老年医学会参加(任意)
7月	近畿精神神経学会参加・演題発表
8月	
9月	
10月	日本精神科救急学会学術総会参加(任意)
11月	日本離床精神神経薬理学会参加(任意)
12月	
1月	
2月	近畿精神神経学会参加・演題発表
3月	総括的評価
その他	

⑥加茂病院

時期	研修内容
4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加 日本老年神経医学会(任意)
7月	近畿精神神経学会(任意)
8月	
9月	
10月	日本病院・地域精神医学会参加(任意)
11月	
12月	
1月	
2月	近畿精神神経学会(任意)
3月	日本統合失調症学会(任意)
その他	

⑦揖保川病院

時期	研修内容
4月	オリエンテーション
5月	日本精神神経学会学術総会参加 もの忘れ相談(地域包括支援センター)
6月	重度知的障害者施設往診
7月	こころのケア相談(健康福祉事務所) 児童・思春期疾患①(病院公開セミナー)
8月	児童・思春期疾患②(病院公開セミナー)
9月	統合失調症研修会
10月	院内研修会(気分障害・不安障害圏)
11月	もの忘れ相談(地域包括支援センター) 認知症疾患(病院公開セミナー)
12月	重度知的障害者施設往診
1月	認知症・かかりつけ医研修会(医師会開催)
2月	こころのケア相談(健康福祉事務所)
3月	総括的評価 研修プログラム評価報告書の作成
その他	

⑧伊丹天神川病院

時期	研修内容
4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	
8月	
9月	
10月	
11月	地方精神神経学会参加
12月	
1月	
2月	
3月	総括的評価 研修プログラム評価報告書の作成
その他	作業療法、訪問看護、行政とのカンファレンス、薬剤勉強会へ参加 各種検査関係実習等

⑨三田西病院

時期	研修内容
4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会
7月	
8月	
9月	オリエンテーション
10月	
11月	地方精神神経学会
12月	
1月	
2月	
3月	研修プログラム評価報告作成
その他	入退院カンファレンス 症例検討会 適宜

⑩ 楓こころのホスピタル

時期	研修内容
4月	オリエンテーション 指導医の指導実績報告提出
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	日本うつ病学会参加(任意)
8月	
9月	
10月	日本認知・行動療法学会参加(任意)
11月	
12月	日本精神科救急学会参加
1月	
2月	
3月	研修プログラム評価報告書の作成
その他	

⑪播磨サナトリウム

時期	研修内容
4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	近畿精神神経学会参加
8月	
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	近畿精神神経学会参加
3月	研修プログラム評価報告書の作成
その他	

⑫神戸白鷺病院

時期	研修内容
4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	近畿精神神経学会参加
8月	
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	近畿精神神経学会参加
3月	研修プログラム評価報告書の作成
その他	

⑬東加古川病院

4月	オリエンテーション SR1 研修開始/SR2・3 前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告提出
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加 BLS講習会 CVPPP(包括的暴力防止プログラム)研修 日本老年精神医学会参加
7月	
8月	
9月	
10月	SR1・2・3 研修中間報告書提出 BLS講習会 CVPPP(包括的暴力防止プログラム)研修
11月	地方精神神経学会参加・演題発表
12月	研修プログラム管理委員会参加 日本精神科救急学会参加
1月	
2月	地方精神神経学会参加・演題発表
3月	SR1・2・3 研修報告書・研修プログラム評価報告書の作成

⑭金岡中央病院

時期	研修内容
4月	オリエンテーション 大阪府断酒会酒害相談講習会 参加
5月	断酒連合会家族会1日研修会 参加
6月	日本精神神経学会学術総会 参加 和歌山断酒道場記念集会、堺・大阪断酒連合会研修 参加
7月	泉州断酒連合会1日研修会 参加
8月	大阪府断酒会・行政・医療スタッフ懇談会 参加
9月	大阪府断酒会記念大会 参加
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	すみれ会(大阪市家族会)記念例会 参加
3月	総括的評価 研修プログラム評価報告書の作成
その他	各作業所での例会、酒害ミーティングに参加 アルコール関連問題学会 参加

⑮香良病院

時期	研修内容
4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会
7月	近畿精神神経学会
8月	
9月	
10月	行動制限最小化委員会研修会
11月	
12月	
1月	アルコール関連問題研修会
2月	
3月	院内症例検討会
その他	

⑩仁明会クリニック

時期	研修内容
4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	
8月	
9月	
10月	日本デイケア学会参加
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	
その他	

⑩明石こころのホスピタル

時期	研修内容
4月	オリエンテーション 疾患の概念と病態の理解
5月	患者および家族との面接(外来) 患者および家族との面接(入院)
6月	日本精神神経学会学術総会参加 日本老年精神医学会参加 診断と治療計画
7月	補助検査法(心理検査、脳波、頭部CT) 判読・読影
8月	薬物・身体療法
9月	精神療法
10月	心理社会的療法、精神科リハビリテーション、地域医療・保健・福祉
11月	地方精神神経学会参加
12月	精神科救急
1月	リエゾン・コンサルテーション精神医学
2月	法と精神医学
3月	医の倫理、安全管理
その他	

⑱枚方療育園

時期	研修内容
4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経医学会総会
7月	
8月	
9月	日本重症心身障害学術総会(任意)
10月	オリエンテーション 日本児童青年精神医学会総会
11月	重症心身障害児協会 医師コース研修会
12月	
1月	
2月	
3月	症例発表会・検討会
その他	

①九州大学病院

4月	オリエンテーション SR1 研修開始 SR2・3 前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告提出 研修医グラウンドラウンド（毎月開催）
5月	教室研究会参加 福岡精神科集談会参加
6月	日本精神神経学会学術総会参加 日本老年医学会参加（任意）
7月	日本うつ病学会参加（任意）
8月	九州地区 11 大学合同研修会
9月	福岡精神科集談会参加 日本生物学的精神医学会参加（任意）
10月	SR1・2・3 研修中間報告書提出 教室研究会参加 日本児童青年医学会参加（任意） 日本認知・行動療法学会参加（任意）
11月	九州精神神経学会参加・演題発表
12月	研修プログラム管理委員会開催
1月	福岡精神科集談会参加
2月	日本不安症学会参加（任意）
3月	SR1・2・3 研修報告書 研修プログラム評価報告書の作成 日本統合失調症学会（任意）